科目名	母性看護学特別研究Ⅲ Research ProjectⅢ in Maternity Nursing	担当教員 (研究室番号)	大平肇子（104） 渡邊聡子（102）	教員への連絡方法 (メールアドレス)	

履修年次	2年次 後期	科目区分	専門科目	選択区分	分野必修	単位数(時間)	4(60)	授業形態	特別研究	科目等履修生	否
										遠隔授業	否

科目目的	研究計画に従って収集したデータの分析を行い、得られた成果について考察し、修士論文としてまとめ学位申請を行う。 修士論文発表会、学位論文審査および最終試験の過程において、的確なプレゼンテーションと討議ができる能力を養う。	
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(DP)	主要なDP	５．看護学の発展に寄与するための研究能力を修得している。
	関連するDP	３．地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。
到達目標	１．収集したデータを適切な方法で分析することができる。 ２．分析結果について丁寧かつ見やすい図や表により提示することができる。 ３．収集したデータや分析結果を客観的な視点から考察し、修士論文としてまとめることができる。 ４．修士論文発表会および修士論文審査・最終試験の準備をすることができる。 ５．修士論文発表会および修士論文審査・最終試験での指摘事項について最終提出論文に反映することができる。	
成績評価方法(基準)	修士論文（80%）、修士論文発表会での発表（20%）	
教科書	特に指定しない。	
参考書等	必要時に提示する。	
受講者へのメッセージ	研究プロセスの実践をとおして得られた成果を修士論文にまとめるまでには多くの時間と努力を要することと思います。地道な積み重ねと主体的な取り組みを期待します。	
備考	学位申請書を提出し、修士論文の審査および最終試験への合格をもって本科目の単位修得とする。	

学　習　内　容

【到達目標１について】
・研究指導教員等の助言を受けながら、収集したデータを研究目的に整合し適切に分析する方法を学ぶ。
・分析結果の解釈や重要な点について整理し、プレゼンテーションを行う。

【到達目標２について】
・分析結果について、標準的ルールに則り、学術雑誌への掲載が可能なレベルの図や表の作成方法を学ぶ。

【到達目標３について】
・得られた結果を主観的にとらえるだけでなく、多くの先行研究をもとに、客観的な視点からとらえる必要性とその言語的表現方法について学ぶ。
・論文作成要領に則り、修士論文を執筆する。繰り返し論文を推敲する必要性について学び、明解かつ論理的で「はじめに」から「結論」までの論旨が一貫した修士論文を作成する。

【到達目標４について】
・修士論文発表会で報告するための資料（パワーポイント）を作成するときの注意事項について学ぶ。
・修士論文発表会で想定される質問とその回答について準備し、質疑応答に備える。

【到達目標５について】
・修士論文発表会や修士論文審査および最終試験での質疑応答や指摘された内容をもとに、修正内容を吟味し最終提出論文に反映する。

【各到達目標の共通事項】
・結果の分析や論文作成の過程において、研究指導教員等から指導や助言を受けながら、修士論文の完成度をより高いものにしていく。